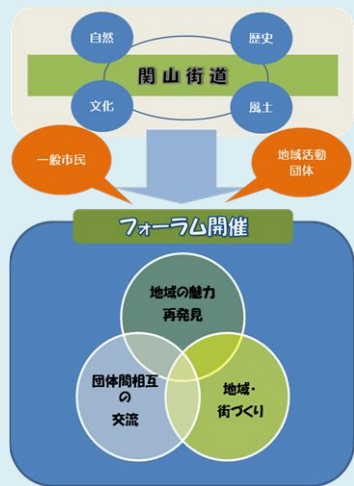


関山街道フォーラム協議会とは・・・

関山街道フォーラム協議会は、関山街道沿線で活動している市民活動団体・企業・行政等が、地域の自然、歴史、文化、風土等の豊かな自然を掘り起こし、活用しながら地域活性化を目指している団体です。

平成 23 年 12 月に「関山街道フォーラム実行委員会」が発足し、平成 24 年 5 月に「関山街道フォーラム」を開催しました。その後、団体間の緩やかなネットワークを築きながら、新たな地域起こしとして「土の道部会」を立ち上げ、マップ作成や探訪会等の事業、また関山街道と並行して走る仙山線に焦点をあてた事業開催のため「鉄の道部会」を立ち上げ取り組んでいます。

平成 24 年 12 月 8 日に「関山街道フォーラム協議会」として名称を改め、地域の魅力を発信していくことを目標に活動をしています。



オブザーバー
宮城県震災復興・企画部
震災復興政策課
仙台河川国道事務所
仙台西国道維持出張所

＊ ＊参加団体＊ ＊

作並振興協会
作並温泉旅館組合
みやぎ建設総合センター
八幡地区まちづくり協議会
広瀬川市民会議
仙台西国 VSP 連絡協議会
定義観光協会
ニッカウスキー(株)仙台工場
大倉ふるさとセンター
宮城地区郷土史探訪会
愛子の郷交流会
ひろせの底力
みやぎ西探訪会
里山を歩く会
仙台・作並回文の里づくり実行委員会
土木学会東北支部
みやぎ街道交流会
みちのく鉄道応援団
仙台市宮城総合支所
仙台市広瀬市民センター

よろしかったら、一緒に活動してみませんか！！

イベントのお知らせ

「仙山線の魅力を語る会」

inやまでら

とき：

7月28日(日)

15:00～16:40

ところ：

山寺芭蕉記念館

山形市大字山寺山南院4223

TEL 023-695-2221

※山寺駅から徒歩8分



旧山寺駅：JR山寺駅

仙山線は、日本で初めて交流電化試験が行われた路線であり、その技術は昭和39年開業の東海道新幹線に活かされていることから、新幹線発祥の路線と言われています。

その歴史的背景に加え、宮城側の山岳部に架かる鉄橋、宮城と山形の県境に跨る仙山トンネル内にある信号機、山寺と作並にある旧駅舎が歴史的遺構として選奨土木遺産の対象となっております。

このたび、宮城と山形の仙山線沿線地域等が連携して、選奨土木遺産の認定を目指すとともに、仙山線の魅力を再発見して、今後の地域の活性化を目的としております。

宮城側では、関山街道フォーラム協議会が主催となり、愛子と作並地区で「仙山線の魅力を語る会」を開催しており、今回の山寺開催は第3弾の開催となります。



◇内 容◇

講 話：東北大学大学院工学研究科

後藤 光雄 准教授

座談会：元国鉄職員による当時の思い出話

※当日は鉄道模型の展示も予定しております。

主催：山寺観光協会・山寺地区文化観光推進協議会・山寺文化保存会
協力：関山街道フォーラム協議会

◇問合せ先：事務局（村山総合支庁地域振興課 TEL023-621-8354）◇

■とうほく街道会議のお知らせ■

◇平成 25 年第 9 回交流会 2013/11/1（金）～ 11/2（土）

平泉中尊寺経蔵別当の所領であった「骨寺村」をテーマに一関市・厳美町（いちのせき健康の森）で開催いたします。

◇なお、平成 26 年第 10 回交流会は、関山街道や JR 仙山線を対象に「関山街道フォーラム協議会」も協働しての宮城地区での開催を検討しています。

発行：関山街道フォーラム協議会

＊事務局 みやぎ街道交流会内

TEL:022-722-3380 FAX:022-722-3381

E-mail:miyagi-kaidou@auone.jp

＊お問い合わせは・・・広瀬市民センターまで

TEL：022-392-8405 FAX:022-392-8410

HP: <http://sekiyamaforum.web.fc2.com/>

2013/7/28 発行

ニュースレター vol.2

関山街道フォーラム協議会

リレー巻頭言

新住民の魅力発見



関山街道フォーラム協議会
副会長

広瀬川市民会議 代表 工藤 秀也

鳳鳴四十八滝が仙台市民に多く知られるところではないが、知る人ぞ知る名所である。広瀬川の河岸段丘の最も美しく、神秘的な景観だと私は思っている。私がこの滝と出会ったのは、25、6 年前だったろうか。作並温泉に行く途中、タクシーの運転手に案内されてのことだった。国道 48 号線沿いに廃屋があり、その裏手に小さな森があって滝があった。知らなければ素通りしてしまう場所である。この景観は今流行の言葉で「パワースポット」と云えよう。感動したのを今でも覚えている。

そして、自然環境の良さに一目惚れした私は定年退職を機に平成 13 年 8 月に、無謀にもこの地に引っ越してきた。

東京の仲間達が、病院も近くにない、スーパーもない、文化施設もない、親戚知人もない私に生活をどうするんだと心配してくれた。しかし、こんな仲間達も我が家に遊びに来ると身も心もリフレッシュして帰って行く。随分古い話だが「自然はホスピタル」という言葉があったことを思い出す。

さて、何の特技もない私は、地域のごみ拾いを始めた。とにかく、ひとりの力ではどうにもならないごみの量と範囲の広さに無力感を覚えながらも挑戦した。そして、作並地域の環境保全と魅力づくりを目的に活動するボランティア団体『グリーンパワー作並』を平成 16 年 1 月に設立。以来、広瀬川のボランティアに深くかわるようになり今日に至っております。

さらに、平成 24 年 5 月より、関山街道フォーラムに参加させて頂き、さらなる地域の魅力発見と仲間がで、大変うれしく感謝している。

4-7 月期 行事实施報告

4/14 (日)「仙山線の魅力を語る会」 in 岩松旅館 鉄の道



第1部:「土木遺産としての仙山線の魅力」と題して、後藤光亀先生（東北大学工学部准教授）による講話。土木学会選奨土木遺産の趣意や内容や、交流電化発祥の地、トレスル橋や転車台など仙山線の重要性、今後の選奨土木遺産公募に向けた動きや仙山線の楽しみ方など。

第2部:元電気機関士の荒井氏からは、当時の苦労や思い出話を、また地元・笹原氏からは、仙山線にまつわる隠れたエピソードを披露いただきました。



岩松旅館でのパネル展示

4/20 (土)「新たな仙山交流に向けて」 総会

第1部「仙山交流の楽しさ面白さ」と題し、当会顧問・宮原育子先生（宮城大学事業構想学部教授）より講話をいただきました。第2部では、「みちのく鉄道応援団」佐藤茂氏、「ぐるっと広瀬100巡り」実行委員会 梅津義政氏より、それぞれの活動を紹介。この地域の良さと未来への展望を描きました。



TOPICS 大倉小学校で出前授業「森と湖に親しむ旬間」



大倉っこにとって、水は身近な存在。いつまでもキレイであってほしいね！

7月18日(木)、宮城県仙台地方ダム総合事務所では、「森と湖に親しむ旬間」(7/21~7/31)に合わせて大倉小学校にて出前授業を行った。

講師に当会副会長 工藤秀也(広瀬川市民会議員)があたり、「森と湖と河川についての講話」と題して、自然のつながりと水の大切さについて、映像を交えながら語った。

宮城地区雑記控 誕生余話

仙台市宮城地区郷土史探訪会顧問 本間一夫
関山街道フォーラム協議会副会長



昭和62年(1987)5月の勉強会と記憶しているが、講師は「宮城町誌改訂編集委員長」の首藤清喜先生で、題は「関山街道」でした。明治13年(1880)の関山隧道開削用火薬、40箱の大爆発事故で死者が23名の話、涙を流しながらつづけられたのです。

その年6月の勉強会で私は爆発事故現場に建っている「慰霊碑」の前での慰霊祭を提案し、賛同を得て祥月命日となる7月21日に会員20名で慰霊碑に香を手向け、花、供物を捧げて読経したのです。

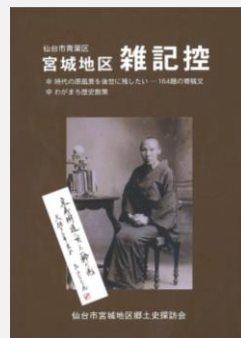
この慰霊祭の写真は。仙台市と合併前の宮城町「広報みやぎ」の表紙を飾り、河北新報でも報道されました。

私の歴史についての思いが変化しはじめたのはこの頃からでした。

人の死により、その人の経験や見聞、知識や想い等の全てが無になってしまい、その人の歴史もまた無になるのだと思いました。

小さなことでも、どんな事でも自由に書いてもらって、その人の生きた時代の原風景と、その人(寄稿者)の名を後世に残そう・・・。

私達「郷土史探訪会」がそんなことを思い、取り組みはじめたのは平成20年(2008)。紆余曲折を経て「宮城地区雑記控」初版が出版されたのは平成23年(2011)6月28日です。翌年24年10月27日には「増補版 宮城地区雑記控」が出版されております。



164編の「証言」をもとに平成23年に発行された本書には、貴重な地域の歴史や原風景が詰まっている。その後99編を加えて増版。今も購入希望者が絶えない。

仙台市合併前、宮城町時代の懐かしい広報誌。昭和62年8月号の表紙を飾ったのが郷土史探訪会による「関山隧道慰霊祭」だった。



今年も好評！ 4/29 関山隧道&嶺渡り 土の道



風もなく穏やかな天候に恵まれたこの日、一般公募による参加者とスタッフを含めて45名が関山峠の古道嶺渡りに挑戦しました。「馬も通らない場所」とされたこの古道ですが、起伏に富み、自然も豊か。「関山隧道」(近代産業遺産)までの道のりを楽しみました。

事前に東根市の関山愛林公益会の方々による下刈り、下山後には岩松旅館での温泉入浴、茶菓のサービスがありました。

ご協力いただき、本当にありがとうございました！

ご存じですか？

必見！『伊達に会い隊』Facebook

「伊達な人、伊達な技、伊達な味、伊達な街」がある宮城仙台。その魅力を存分に伝えるべく、仙台市民により『伊達に会い隊』が結成されました。ここでは「秋保温泉・作並温泉」を中心に、個人旅行のスタイルに合わせて、意外なスポットや話題を紹介しています。

フェイスブック「伊達に会い隊」、ぜひアクセスしてみてください。



左は、5/18山寺御開帳記念列車運行の際、「鉄の道部会」同道を記事にされたもの。下は、「伊達に会い隊」アクセスQRコード。ぜひご利用ください。

右下:「鉄の道部会」の様子も紹介されました。「伊達に会い隊」FB(6/29)より。

